

# お元気ですか

# 南 恵子

# です

ニュースを読んでご  
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

**南 恵子**

TEL 3790-1523



発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

区議団 e-mail info@jcp-shinagawa.com

## 都営・区営住宅建設を急いで 答弁は 住宅数は余っている<sup>しかし</sup>つくらない

第1回定例会で区営住宅建設を求める質問を菊池議員が行いました。募集枠が少ないために、入れない状況は深刻です。しかし、区の答弁は区民の願いの厳しさを受け止めようとする姿勢はまったく感じられませんでした。

都営・区営住宅の募集  
はわずかしかなく建設  
は待ったなし

昨年の募集と応募の状況を見ると、多くの方が入居を強く願っていることがよくわかります。

東品川第二都営は304倍で最高でした。若年定期ファミリー世帯の募集はわずか3戸に対して68倍の応募でした。また、区営住宅の入居者は20年度の一年間で11戸にとどまっています。都営も区営も建設が急がれることを痛感します。

### 建設求め質問

答弁は「住宅は余っている」

党区議団は、第1回定例会区議会で現状を紹介しながら建設を求めました。

区内にはいわゆる中堅所得者向けの区民住宅は1056

戸あります。23区で1000戸を超えて建設しているのは品川区のみです。しかし、低家賃で入居出来る区営住宅はわずかに439戸。世田谷区は品川に次いで902戸の区民住宅を有していますが、区営住宅は1384戸あります。品川区とは逆で、高い家賃の住宅は品川より少なく、低家賃住宅は多いのです。

区は、住宅をつくれと迫るわが党に対して、いつも「住宅のストックが3万戸あり、量的確保はなされている」としてつくることに背を向けています。では、百歩譲って、使われていない住宅を借り上げるなどして区民に提供こそするべきですが、それすらしないであまっているから作らないの一点張りは無責任です。



長期基本計画には「ストックの活用」だけで「建設」の文字がない

今年度からスタートした長期基本計画には、「住宅ストックを活用した良質な住宅供給の促進」という項目のみで、住宅を建設する計画はまったくありません。品川区が本来果たすべき役割りは、きびしい暮らしを余儀なくされている区民への支援こそ取り組むべき大事な課題です。

長期基本計画の表紙には「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」と書いてありますが、中に書かれている内容は、区民の実態と願いと違います。

また、党区議団が実施した区民アンケートをみると、

収入に占める居住費の割合が3割以上という方が35%。また、80%の方が区営や高齢者住宅を望んでいることがわかりました。中堅ファミリー層の定住化促進も必要でしょう。引き続き実現に取り組みます。

入学おめでとうございます。

八潮一貫校の入学式に参加しました。

入学式当日、校門前での写真撮りは見えてもほのぼのします。つい、「シャッターを押しますよ」とお節介してしまいました。小学1年生と中学7年生が一緒の式で心配でしたが、無事終了にホッでした。

## 相変わらず大盤振る舞い 開発補助金

北品川5丁目開発に264億円 資材高騰で倍に

品川区内を見回すと高層ビルが本当に多くなりました。10数件の計画が終了し、特に大崎駅周辺は下記の写真のように高層ビルばかりの街になりました。ここに、税金がどっと使われています。



写真のビル群をご覧になってどういう印象でしょうか。このビル郡の裏側に北品川5丁目開発地域があります。そこに投入される補助金は264億円です。計画当初は130億円でしたが、資材高騰を理由に倍になりました。公私立保育園全園の年間運営費は84億円、補助金は3年分に当たります。開発より保育園や住宅建設こそです。

雇用・生活・子そだて・教育などどんな問題でもお気軽にご相談ください。  
連絡・問い合わせ先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523